

各位

会社名 ワンダープラネット株式会社  
代表者名 代表取締役社長 CEO 常川 友樹  
(コード番号: 4199 東証グロース)  
問合わせ先 取締役 CFO 佐藤 彰紀  
TEL. 052-265-8792

### 2024年8月期業績予想に関するお知らせ

当社は、2023年10月13日に公表しました「2023年8月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)」において、非開示としておりました2024年8月期(2023年9月1日~2024年8月31日)の業績予想について、下記の通りお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 2024年8月期業績予想数値(2023年9月1日~2024年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 —	百万円 —	百万円 —	百万円 —	円 銭 —
今回修正予想(B)	2,440	120	110	90	35.37
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(参考)前期実績 (2023年8月期)	3,464	49	28	△236	△98.45

#### 2. 業績予想数値の理由

2024年8月期の業績予想につきましては、近年の世界のモバイル向けゲーム市場を取り巻く競合環境の変化が以前にも増して著しく、既存運営タイトルの業績動向を精緻に予測することがより困難であること等から非開示としておりましたが、現時点で入手可能な情報等に基づき算定しましたので、開示いたします。

売上高については、「クラッシュフィーバー」日本版が9周年記念キャンペーンの好調な推移等で前期(2023年8月期、以下同じ)に対して第4四半期は増収、通期では同程度の着地と堅調に推移したものの、収支改善を目的とした「クラッシュフィーバー」海外版の2023年12月のサービス終了、「アリスフィクション」の2024年9月のサービス終了予定、また2024年3月にサービス終了した「ジャンプチヒーローズ」日本版及び繁体字版の影響で、前期比で大幅な減収となりました。一方で、2024年6月に国内サービスを開始した株式会社ゲームフリークとの共同開発タイトル「パンドランド」を始めとする協業先との共同開発タイトルは、概ね想定通りの開発進捗となり開発にかかる売上高は安定的に推移し、前期比で増収となりました。なお、「パンドランド」は、当社の拠出費用抑制を重視しそのトレードオフで事業利益が緩やかな拡大となる座組を採用していることから、サービス開始後のアプリ内課金等による通期業績に与える影響は限定的となりました。

営業利益、経常利益については、中長期的な収益の拡大に向けて引き続き新規開発に取り組んでいる

一方で、前述のとおり「パンドランド」と同様に、2025年以降も年1本程度の新規リリースを目処に開発中の協業先との有力IPタイトル2本も当社の拠出費用抑制を重視した座組を採用していること、「クラッシュフィーバー」日本版の底堅い利益貢献、「アリスフィクション」の損失幅の大幅な減少等により、「ジャンプチ ヒーローズ」日本版及び繁体字版のサービス終了による減益影響等を上回り、前期比で大きく増益となりました。

当期純利益についても、営業利益、経常利益が増益となったことにより、前期比で黒字転換となりました。

※上記の業績予想予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後の様々な要因によって予想数値とは異なる可能性があります。

以上